

消化管1：上部消化管1（炎症、感染症）

日時：9月11日（木） 1時限

担当者：岡 政志（総セ 消化器・肝臓内科）

内容：

1. 逆流性食道炎
2. 食道癌
3. アカラシア
4. Mallory-Weiss 症候群
5. 食道静脈瘤

ポイント：

1. 逆流性食道炎の病態と治療を説明できる
2. 食道癌の分類と進展形式を説明できる
3. 食道癌の診断と治療体系を説明できる
4. アカラシアの病態と治療を説明できる
5. 食道静脈瘤の発生・診断・治療を説明できる
6. 食道疾患の内視鏡的治療の適応と方法を説明できる

キーワード：

LES, Barrett 食道, GERD, pH モニタリング, ロサンゼルス分類, ヨード染色, 扁平上皮癌, 嚥下障害, リンパ節転移, 食道気管支瘻, 外科手術, 放射線照射, 化学療法, bird beak sign, EIS, EVL, シアノアクリレート, B-RT0

教科書：

◆ 消化器・肝臓内科教科書, 内科学（朝倉書店）第11版

準備：

消化器・肝臓内科教科書, 内科学（朝倉書店）と3年生の時の授業プリントを読んできること。解剖学・病理学・生理学の教科書を読み、食道の構造と機能をよく理解してきること。必要時間：2時間。

消化管2：上部消化管2（腫瘍、その他）

日時：9月18日（木） 1時限

担当者：真下 由美（国セ 消化器内科）

内容：

1. 急性胃炎
2. 慢性胃炎
3. A型胃炎（自己免疫性胃炎）
4. *Helicobacter pylori*
 - 1) *Helicobacter pylori* の細菌学的知識
 - 2) *Helicobacter pylori* の検査法
 - 3) *Helicobacter pylori* の除菌法
 - 4) *Helicobacter pylori* の病理学
5. 胃アニサキス症
6. 機能性胃腸疾患

ポイント：急性胃炎と慢性胃炎は原因も病態生理も異なる。個別の疾患をよく理解することで違いがわかりやすくなる。

1. ★D-7-4-2 急性胃炎、急性胃粘膜病変について原因・診断・治療法について理解し、説明できる。
2. 慢性胃炎について原因・診断・治療法について理解し、説明できる。
3. 慢性胃炎から胃発がんへの病態生理について理解し、説明できる。
4. ★D-7-4-2 急性胃腸炎、慢性胃炎を概説できる。

5. *Helicobacter pylori* の細菌学的特徴を理解し、説明できる。*Helicobacter pylori* 感染経路、検査法、疾患の病態生理について理解し、説明できる。
6. *Helicobacter pylori* の除菌治療について理解し、説明できる。
7. *Helicobacter pylori* 除菌による消化性潰瘍再発・胃がんの減少効果について理解し、説明できる。
8. 胃アニサキス症について病態と診断・治療法について理解し、説明できる。
9. 自己免疫性胃炎(A型胃炎)の病態と診断・治療法について理解し、説明できる。
10. ★D-7-4-2 機能性消化管障害(機能性ディスぺプシア(functional dyspepsia <FD>))の病態、診断、治療法を説明できる。

キーワード：

ユニット

Helicobacter pylori, 急性胃粘膜病変, 慢性胃炎, メネトリエ病, A型胃炎

コアカリ：急性胃粘膜病変、急性胃腸炎、慢性胃炎、胃アニサキス症、ウレアーゼ、アンモニア、CAG A、*Helicobacter pylori* 培養法、ギムザ染色、抗体検査、便中 *Helicobacter pylori* 抗原検査、尿素呼気試験、1次除菌、2次除菌、耐性菌、機能性ディスぺプシア

国試出題基準：胃アニサキス症、急性胃炎、急性胃粘膜病変、慢性胃炎、萎縮性胃炎、自己免疫性胃炎(A型胃炎)

教科書

◆ 消化器・肝臓内科教科書

内科学第11版(朝倉書店) p356, p920-925 を予習しておくこと。

準備：

3年性の内視鏡治療の講義も併せて復習してください(20分)。

消化管3：下部消化管1(炎症、感染症)

日時：9月18日(木) 2時限

担当者：加藤 真吾(総セ 消化器・肝臓内科)

内容：

下部消化管の感染症、炎症性疾患について理解し、説明できる。

1. 腸炎(感染性腸炎)
2. 非特異性下部消化管潰瘍
3. Crohn病
4. 潰瘍性大腸炎
5. 腸結核
6. 虚血性大腸炎
7. 吸収不良症候群
8. 好酸球性胃腸炎・消化管アレルギー
9. 蛋白漏出性胃腸症
10. 消化管憩室・憩室炎
11. 全身疾患と消化管

キーワード：

ユニット：

腸炎(感染性腸炎)、非特異性下部消化管潰瘍、Crohn病、潰瘍性大腸炎、腸結核、虚血性大腸炎、吸収不良症候群、好酸球性胃腸炎・消化管アレルギー、蛋白漏出性胃腸症、消化管憩室・憩室炎、全身疾患と消化管

教科書：

◆ 内科学第12版(朝倉書店)

5 症候学 5-12 下痢、6 治療学 6-1-1 薬物療法 2) 感染症に対する薬物療法、7 感染症 7-2 各種感染

症疾患 7-2-4 消化管感染症、11 消化管・腹膜の疾患 11-1 総論、11-5 腸疾患、11-6 蛋白漏出性胃腸症、11-8 消化管憩室・憩室炎、11-10 全身疾患と消化管

予習：

(60 分) 内科学第 12 版での範囲内容の確認をしてください。

復習：

(30 分) 内科学第 12 版での範囲内容を復習してください。

消化管 4：下部消化管 2（腫瘍、その他）

日時：9 月 18 日（木） 3 時限

担当者：平能 康充(国セ 消化器外科)

内容：

1. 大腸癌の原因、疫学について理解し、説明できる。
2. 大腸癌の病理所見、診断、肉眼分類と進行度分類を説明できる。
3. 大腸癌の症候、診断、治療を説明できる。
4. 人工肛門の分類、適応について説明できる。
5. 肛門疾患を列挙し、特徴と治療法を述べるができる。
6. 直腸脱の病態と治療法を説明できる。
7. 肛門癌について病態・診断法・治療法を説明できる。
8. 腸閉塞（イレウス）の分類、原因、症候とその治療について説明できる。

キーワード：

ユニット：

キーワード 大腸癌、痔核、裂肛、肛門周囲膿瘍、痔瘻、直腸脱、人工肛門、腸閉塞（イレウス）

★コアカリ：

D-7-4)-(3) 小腸・大腸疾患②④

D-7-4)-(8) 腫瘍性疾患 ⑥⑦

教科書：

◆ 標準外科学 14 版（畠山勝義；医学書院）

予習：

(30 分) 直腸・肛門疾患・大腸癌・腸閉塞について、標準外科学での範囲内容の確認と 3 年の講義を復習しておいてください。

復習：

(15 分) 直腸・肛門疾患・大腸癌・腸閉塞について、標準外科学での範囲内容の確認してください。

消化管 5：消化管疾患の外科的治療

日時：9 月 19 日（金） 2 時限

担当者：浅野 博(消化器・一般外科)

内容：

上部消化管について

1. 上部消化管穿孔の治療について説明できる
2. 胃癌の外科治療について説明できる

下部消化管について

1. 大腸癌の局在に応じた術式を説明できる
2. 大腸穿孔の治療法について説明できる

ヘルニアについて

1. 鼠径部ヘルニアの診断と治療について説明できる
2. 腹壁ヘルニアの診断と治療について説明できる

キーワード：

胃癌、幽門側胃切除術、胃全摘術、大腸癌、前方切除術、人工肛門、内鼠径ヘルニア、外鼠径ヘルニア、大腿ヘルニア、腹壁癒痕ヘルニア、嵌頓

教科書：

◆ 標準外科学

準備：

該当項目を予習しておくこと。(30 分)